（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス白ひげの家			
○保護者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	20	（回答者数）	19
○従業者評価実施期間	2026年　2月　1日	～	2026年　2月　28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域の項目ごとに標準化されたフォーマルを使いアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認している。	AIソフトを導入し、日々の利用児童の活動把握や共有の素早さにつながっており、また客観的にアセスメント項目を見ることができている。	昨年度とは違うツールを使っており、日々ツールの使用状況やアセスメントシートの見直しを行っていき固定化しない活動内容を検討していきたい。
2	子どもがより安心して過ごすことができるよう、半個室を作る、2階を使った個別空間を提供している。	日々の活動の中で、カーテンで仕切り半個室をつくったり、2階と１階に分かれて活動を行う時もあります。そこでより少人数での関りを実現することができています。	ご利用者の人数やその日によってそれぞれの階で過ごす子どもの人数配置について、どのように職員を配置して子供たちの活動を支援するか検討する必要があると感じます。
3	日ごろから、お送りの際など子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの状況や今後の課題について共有を行っています。	事業所、公式LINEを使っており、保護者の方がより身近にコミュニケーションがとれるように努めています。また、業務支援ツール「デイロボ」を使っておりよりスピーディーに情報を共有しています。	保護者の方によっては、どちらも操作方法に不安を持たれる方も出てくる可能性があるのでその場合の共有方法を検討していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	・保護者に対する研修会の機会がない。	今後、家族参加型の研修会や行事を検討していきたいと考えています。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	・保護者同士の交流する機会がない。 ・兄弟児童向けのイベントを開催していない	SNSなどを使ってより活動内容を皆様に周知させていただきます。また、保護者同士の交流についてはご希望があれば検討したいと考えています。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	・現状、イベントとして活動する機会を設けられていない	公園に出かけた際には地域のお子さんも交えて鬼ごっこなどをすることもあります。今後は地域のイベントにも参加していきたいと思います。